



平成27年9月8日



「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトのセミナーの様子

平成27年9月8日(火)

愛知県産業労働部

・あいち産業科学技術総合センター
企画連携部企画室

担当 鹿野

電話 0561-76-8306 (ダイヤルイン)

・産業科学技術課科学技術グループ

担当 江口、吉富

内線 3409、3384

電話 052-954-6351 (ダイヤルイン)

公益財団法人科学技術交流財団

・知の拠点重点研究プロジェクト統括部

担当 富田、安部、村山、山本

電話 0561-76-8380 (ダイヤルイン)

『「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト成果報告会 in 豊橋』の

参加者を募集します！

愛知県は、大学等の研究シーズを企業の実用化・製品化につなげる産学行政連携の共同研究開発プロジェクト『「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト』¹を実施しています。

このたび、「超早期診断技術開発プロジェクト」²に関する研究成果について、関連企業並びに県民の皆様幅広く知っていただくため、『「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト成果報告会 in 豊橋』を開催します。

本報告会では、「ヘルスケア・早期診断を目指した生体情報モニタリング用新規デバイスの開発」をテーマに最新成果品をご紹介します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1 行事名 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト成果報告会 in 豊橋

2 日時 平成27年10月9日(金)午後2時から午後5時まで

3 場所 豊橋商工会議所 3F ホール(豊橋市花田町字石塚42-1)

TEL: 0532-53-7211

* 豊橋駅東口ペDESTロリアンデッキ5番階段から大橋通りを北へ徒歩約5分

* 会場には、公共交通機関を利用してお越しください。

4 参加費 無料

5 定員 100名(申込先着順)

6 主 催 愛知県、(公財)科学技術交流財団、豊橋技術科学大学

7 内 容

時間	内容・テーマ	講演者
14:00～14:10	主催者挨拶	
14:10～17:00 途中 20 分休憩	開催趣旨と超早期診断技術開発プロジェクトの概要	プロジェクトリーダー 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 特任教授 <small>おおたみ ちあ</small> 太田美智男
	【成果報告】 動脈硬化の超早期診断を目指した血管機能検査法の開発	名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授 <small>まつもと たくお</small> 松本健郎
	【成果報告】 血管の老化検出に向けた数理モデルによる血管動態解析	科学技術交流財団 研究員 <small>やまき しょういち</small> 山崎陽一 愛知県立大学 情報科学部 教授 <small>かみやま よしみ</small> 神山斉己
	【成果報告】 尿塩分センサの開発	(株)LIXIL 技術研究本部 分析・評価センター長 <small>い す ひろふみ</small> 井須紀文
	【成果報告】 在宅型アルツハイマー病早期診断装置の開発	国立長寿医療研究センター 客員研究員 <small>たきがわ おさむ</small> 滝川 修
	全体のまとめと今後の展開	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 <small>さわだ かずあき</small> 澤田和明
随時	試作機器展示・実演	

8 申込方法

参加申込書に必要事項(団体名、電話番号、氏名、所属、E-mail アドレス)を記入の上、FAX 又は E-mail でお申し込みください。

* 参加申込書の入手方法: 本県の HP からダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000085560.html>

9 申込締切

平成 27 年 10 月 2 日(金)まで(ただし、定員に達し次第締め切ります。)

* 参加受付証は発行しませんので、お申し込みの上、直接会場にお越しください。

なお、定員超過の場合のみ連絡させていただきます。

10 申込・問合せ先

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部

TEL : 0561-76-8380 FAX : 0561-21-1653 E-mail : juten-p3@astf.or.jp

用語説明

1 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト

高付加価値のモノづくりを支援する研究開発拠点「知の拠点あいち」を中核に実施している産学行政の共同研究開発プロジェクト。大学などの研究シーズを企業の製品化へつなげる橋渡しの役割を担い、超早期診断技術開発プロジェクト等3つのプロジェクトを実施。

2 超早期診断技術開発プロジェクト

プロジェクトリーダー

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 特任教授 太田美智男

内容

超高齢化社会において、全国的に増加が予想される脳・循環器系疾患、がん、生活習慣病を早期に発見するために、工学系の研究者と医学系の研究者（医師）が医工連携体制を構築し、痛みがない、少ない、簡易な早期診断技術や日常的な健康モニタリング技術を確立する。

参加機関

18 大学 6 公的研究機関 16 企業（うち中小企業 8 社）（平成 27 年 5 月 1 日現在）

・大学

名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、愛知県立大学、愛知学院大学、愛知工業大学、椛山女学園大学、中部大学、中京大学、豊田工業大学、名古屋市立大学、藤田保健衛生大学、京都工芸繊維大学、大阪市立大学、三重大学、広島大学、広島市立大学、北海道大学

・公的研究機関

（国研）国立長寿医療研究センター、（国研）産業技術総合研究所、愛知県がんセンター、（公財）愛知県健康づくり振興事業団、あいち産業科学技術総合センター、（公財）科学技術交流財団

・企業

（株）医学生物学研究所、（株）スズケン、高砂電気工業（株）（株）槌屋、（株）デンソー、（株）NAST、ブラザー工業（株）（株）ユネクス、（株）LIXIL、（株）オプトニクス精密、中央精機（株）、東レ（株）日本ケミコン（株）浜松ホトニクス（株）、フィガロ技研（株）（株）ユニテック